

まちの 話題

いい町まもり隊発足式

10月5日に役場ロビーにおいて、いい町まもり隊の発足式を行いました。最近、長野県においても一人暮らしの老人が強盗の被害にあって亡くなるなど考えられない事件が発生しています。そこで町では、職員がボランティアで防犯も含めた地域の安全と環境・景観を守る取り組みをしようということになりました。現在隊員は76名で、活動は朝夕の通勤時を利用した個人パトロールと町内を旧村単位の4ブロックに分け、週に一度、ブロック別のグループパトロールを行っています。隊員は、自家用車のサンバイザーに「地域巡回中」と書いた黄色のプレートをつけ、黄色の帽子と蛍光色のベストを着用し、地域を巡回しています。町には犯罪者の入り込む余地がないということを知らしめるためにも、児童や生徒の安全確保、簡単なごみ拾いや道路の管理、不審者のけん制や不法投棄の防止などを目的としてパトロールを行っています。



「証明書交付事務委託協定」調印式

10月1日、役場において特定郵便局（富士見、境、御射山、本郷、瀬沢）との間で「証明書交付事務委託協定」調印式が行われました。住民票の写しや戸籍謄本などが役場だけでなく、郵便局でも交付できるようになりました。詳しくは12ページを参照ください。

理事者との懇話会

10月14日、コミュニティ・プラザにおいて町女性団体連絡会が理事者との懇話会を開催しました。今年のテーマは「新しいまちづくりに向けて」で最初に新しいまちづくり系の職員が仕事の内容や方向性について説明した後、理事者を交えて意見交換を行いました。

活発な意見交換の中で「どんな町にしたいか」の質問に町長は「高齢者が安穩に暮らせ、生まれてくる命がしっかり生まれ、人が人であることをお互いに尊重しながら生きて行ける町にしたい」述べました。



町民スポーツ祭

10月11日の体育の日に第27回町民スポーツ祭が乙事町民広場で開催されました。この日は天気にも恵まれ、約600人が参加し、ソフトバレー、マレットゴルフなどの大会やギネスコーナー（スリッパ飛ばし、紙飛行機飛ばし、ストラックアウトなど）、ニュースポーツ体験コーナーなど普段スポーツをしない方にも参加できる催しがいくつかあり、どこの会場も賑わっていました。

大会記録を出した方には記録書と粗品が贈呈されました。